

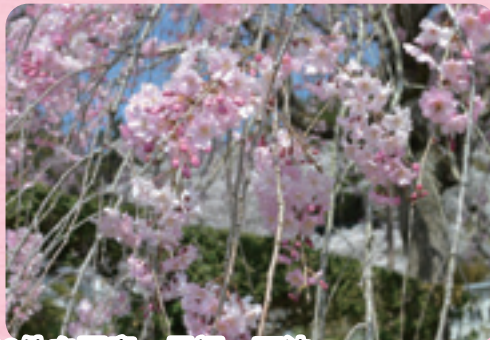
ふくさき

議会だより

令和7年5月15日

兵庫県福崎町議会

第174号



3月定例会 P2

令和7年度一般会計予算など議案30件を同意・承認・可決
長寿祝金支給条例の一部改正を否決

委員会報告 P9

総務文教常任委員会・民生まちづくり常任委員会

一般質問 P11

8人の議員が質問

第518回臨時会 ... P20

新議会構成 P21



町内の桜

令和7年度予算 総額113億1700万円

中播消防署建替 11億6950万円

福崎駅田原線など道路新設・改良 4億8000万円

中学校給食費1年間無償化 2870万円など

第517回定例会

3月定例会は3月3日に招集され、25日までの23日間の会期で開きました。今定例会では報告2件、令和7年度一般会計予算についての議案31件が提出され、慎重に審議を行いました。

審議の結果、30議案については原案のとおり同意・承認・可決、1議案について否決しました。一般質問は3月18日、19日に行われ、8議員が町政全般にわたり質問しました。

全員賛成で同意・承認・可決した議案等

	議案名	概要
人事	市川町外三ヶ市町共有財産事務組合議会議員の選任	新たに18名を選任
	人権擁護委員の推薦	川端久美子氏を選任
令和7年度予算	後期高齢者医療事業特別会計予算	総額3億5700万円
	介護保険事業特別会計予算	総額18億7470万円
	工業用水道事業会計予算	総額1億1940万円
令和6年度補正予算	一般会計補正予算（第6号）	2億9200万円増額（総額101億8070万円）
	国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	4978万7千円減額（総額18億5250万円）
	後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	214万5千円増額（総額3億4707万円）
	介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	5690万円増額（総額19億1160万円）
	下水道事業会計補正予算（第2号）	収入総額を10億2829万8千円、支出総額を9億9711万8千円とする
	専決処分の承認（一般会計補正予算（第5号））	低所得世帯・低所得の子育て世帯支援臨時給付金事業（追加支援分）に係る費用7080万円増額（総額104億7270万円）
条例	一般職の職員の給与に関する条例の改正	人事院勧告に基づく各種手当の変更
	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理	「懲役」及び「禁錮」を廃止し「拘禁刑」が創設されるため関係する条例の改正
	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の改正	法律の改正に伴い、法律の規定を引用している条文を改正
	町道大貫～山田線ボックス内排水設備維持管理に係る基金の設置及び管理に関する条例等の改正	行政改革の一環として、現行の基金の運用益のみ基金の目的事業経費に充当できるものから、基金全体額を目的事業に充当できるようにするため、3つの基金条例を一括改正
	消防団員等公務災害補償条例の改正	政令の改正等に伴い、非常勤消防団員等及び消防作業従事者等の損害補償に係る補償基礎額について改正
	非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の改正	処遇改善を図るため勤務年数区分に、新たに「35年以上」区分を追加
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の改正	揭示等に関する規定、連携施設の確保に関する規定及び電磁的記録に関する規定等が改められたため改正
	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正	連携施設の確保に関する規定、栄養士に関する規定及び職員配置基準の規定が改められたため改正
その他	中播北部行政事務組合規約の変更	分担金の負担方法における人口について、前年末住民基本台帳人口から前年4月1日現在の住民基本台帳人口に改める
	第3期子ども・子育て支援事業計画の策定	3期目の子ども・子育て支援事業計画を策定（計画期間：令和7年度から令和11年度までの5年間）
	町道路線の廃止及び認定	高岡・福田地区の7路線を廃止、5路線を認定
報告	専決処分の報告（特別教室空調設備等設置工事）	事業量の増により5,544,000円増額（総額2億8923万4千円）
	専決処分の報告（損害賠償の額を定め和解すること）	物損事故における損害賠償の額を4万4千円と定め和解する
発議	福崎町議会の個人情報の保護に関する条例の改正	法律の改正に対応するとともに所要の規定を整備する

報告は質疑のみで討論・採決は行いません。

賛否の分かれた議案等

議案名	賛否		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	○	●	石川	竹本	牛尾	大塚	吉高	植岡	宇崎	小林	河嶋	松岡	城谷	富田	三輪	前川
			治	繁夫	雅一	記美代	平記	茂和	壽幸	博	重一郎	秀人	英之	昭市	一朝	裕量
条例	特別職に属する常勤の職員の給与に関する条例の改正	11	2	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	—
	長寿祝金支給条例の改正	2	11	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	—
	水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の改正	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
	下水道事業条例の改正	12	1	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	—
	農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の改正	12	1	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	—
令和7年度予算	一般会計予算	12	1	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	—
	国民健康保険事業特別会計予算	12	1	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	—
	水道事業会計予算	12	1	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	—
	下水道事業会計予算	12	1	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	—

前川議長は賛否同数の採決以外は採決に加わりません。

特別職の給与に関する条例を改正 町長、副町長、教育長及び公営企業管理者の給与を減額

提案説明
持続可能な行財政運営の確保に資するため、令和7年度の間、町長、副町長、教育長及び公営企業管理者の給与をそれぞれ、3割、2割、1.5割及び1割減額するもので、令和7年4月1日から施行します。

	給料月額	給料月額	控除される額	令和7年度中の給料月額
町長	830,000円	3割	249,000円	581,000円
副町長	673,000円	2割	134,600円	538,400円
教育長	620,000円	1.5割	93,000円	527,000円
公営企業管理者	520,000円	1割	52,000円	468,000円

討論

反対討論(要旨)

石川 治



一過性のパフォーマンスでお茶を濁すのではなく、特別職の4人を頂点に一般職員を含めた役場の職員全体でこの逼迫した財政を立て直すため、令和7年度1年間は職員一丸となって取り組んでいくという決意を表明していただきたい、そういう思いから安易な特別職の報酬減という本議案についての反対討論といたします。

賛成討論(要旨)

城谷 英之



財政の悪化を招いたのは特別職の方の今までの責任であり、決して減額をしたからといって逃られる事ではない。
一日でも早く財政の立て直しを実現し、報酬を正常に戻していただく事をお願いし賛成討論いたします。

長寿祝金支給条例を改正

77歳への長寿祝金(1万円)を
廃止する改正

否決

今定例会初日に提案された議案第12号、福崎町長寿祝金支給条例の一部を改正する条例について、審議の結果否決しました。

提案説明

人口構造の変化や時代背景を鑑み、高齢者と呼ばれる年齢であっても、心身が健康であり活発な社会活動を行う人が増えたことから、77歳が「長寿」という認識はなくなりつつあります。また、近隣市町においても同様の理由により77歳への支給を廃止しているため、77歳への支給は廃止します。

否決までの経過

日付	会議名	内容
5日	定例会2日目・本会議	議案を常任委員会へ付託
13日	民生まちづくり常任委員会	継続審査とすることの動議が出される 継続審査とすることについて賛成4・反対3で継続審査となる
	委員会で出た意見 - 突然何の説明もなく77歳への祝金をなくすのではなく、それに代わる、あまり予算の発生しないようなものでお祝いの気持ちを示したらどうか。例えば文珠荘の無料入浴券などいかがか。 - 削減される財源の使用目的が不明瞭。	
25日	定例会5日目・本会議	民生まちづくり常任委員長から継続審査とすることを報告
	委員長報告に対する質疑 城谷議員 継続審査とされた理由は。 小林委員長 町長、副町長からも今後考えていかなければならないという趣旨の発言があり、代替措置や施行期日なども含め検討が必要と判断した。 城谷議員 4月末までの任期での継続審査、この4月中に審査が終わる予定で継続審査とする判断をされたのか。 小林委員長 任期が4月30日までであるので、案がまとまってくれば当然委員会を開いてやっていく責任はあろうと考えている。	
	定例会5日目・本会議	継続審査とすることについて異議ありのため採決 その結果、継続審査とすることについて賛成少数で否決、 民生まちづくり常任委員会へ差し戻し
	継続審査にすることについての反対討論(要旨) 福崎町議会は、会期制を採用していることから、3月議会に付託された議案は、会期中に限り審議が可能となって、会期中に議決されなかった案件は、一部の例外を除いて廃案となる。現議員を対象として4月30日までに本件議決のためのみに臨時議会を招集すれば、町議会議員選挙後に予定されている初議会が5月1日であることにあわせ、理事者側は短期間のうちに2回もの臨時会開催に係る諸準備を行うこととなり、働き方改革の進展を阻害することにもなる。3月議会に付託された議案はその会期中に限り審議を行うべきであることから、本3月議会の会期内となる本日、議決することを求め、継続審査に反対します。  三輪 一朝	

日 付	会 議 名	内 容
25日	民生まちづくり常任委員会	再審査の結果、原案のとおり可決することに賛成0のため議案第12号否決
	委員会で出た意見 ・唐突に出されたため反対。 ・行政改革なのか、77歳が長寿ではなくなり他の市町村がされていないからなのか明確にしていきたい。代替案が提案できるのであればいただきたい。議案としては完成できていないものとして否決すべき。	
	定例会5日目・本会議	民生まちづくり常任委員長から否決となったことを報告
	定例会5日目・本会議	原案のとおり可決することに賛成2・反対11で否決

討論 下水道条例の改正

反対討論(要旨)

小 林 博



今回の引上げは一般会計からの繰入れを減らす行政改革の一環として出されてきました。行革を言うなら公営企業管理者制度の廃止こそまず行すべきです。1257万円の人件費は削減対象とすべきです。値上げの内容は基本使用料、家庭が22.4%です。一般家庭の引上げ幅が、半数以上が20%を超える上昇となります。消費税を合わせ、水道料金等合体で2か月請求ですから、負担感はさらに大きくなると思います。使用量が増えた分は基準内繰入れが減るという説明もありました。交付税算入分は流用しないでいただきたい。審議会には、精査をしていない数字を出して審査を求め結論を求めた。不信感は募る一方。したがって、値上げ案は否決すべきものと考えます。

賛成討論(要旨)

吉 高 平 記



兵庫県下では、福崎町のみが使用料体系で公共下水道と農業集落排水とが違う2重構造であり、後者は施設の老朽化が進み順次廃止して公共下水道に一本化になることから、議案第14号、15号は関連する案件です。両議案の目的は、使用料改定と共に両者の利用料金を一本化することです。できるだけ使用料改定率を抑えながら、適正な下水道使用料を目指すための第一歩として賛成します。なお公共下水道は供給開始後20年近く一度も料金改定をしていない間に原価割れを起こし、その赤字を税金で補填しているのが現状です。行政側の課題として住民に適正価格を示し、中長期的な視点で料金改定の理解と納得を得るために、各地で説明会を開催し、住民に分かりやすく真摯に説明することが必要です。

討論 令和7年度一般会計

反対討論(要旨)

行政改革として、喜寿祝の廃止、図書館の図書費購入費や事業費削減、花作りの廃止、下水道会計の繰入れ削減による使用料引上げ、生活住民や文化などの分野で厳しい予算となっています。国民健康保険もまた値上げの予算です。さらに、町政全般にわたり使用料、手数料など住民負担の増加、住民サービスのカットなどの検討を今年度計画していくとのこと。町行政の目的は全ての町民が安心して暮らせる町ではないでしょうか。1人も取り残さないなどということがよく言われていますが、この予算で進められようとしている方向づけは生活犠牲ではないでしょうか。7年度がその方向に踏み出す年になるように感じます。町民の生活の安定に町行政の基本姿勢を戻すことを強く求めて本予算に反対の討論といたします。



小 林 博

予算審査特別委員会

委員長 三輪一朝
副委員長 竹本繁夫

予算審査特別委員会は3月6日・7日・11日の3日間開催され、付託された各会計の令和7年度予算について、現地調査も含めて慎重に審査を行いました。

審査の結果、各会計とも原案のとおり可決すべきものと決定しました。委員会での主な質疑は次のとおりです。

予算概要

基準財政需要額の交付税算入の組み込まれ方は。

企画財政課長

交付税の仕組みは、人口10万人の市を基準とし、福崎町の人口約1万9000人に落とし込んで基準財政需要額が算定されています。

ふるさと応援寄附金

目標額の設定理由と目標額達成に向けての方策は。

地域振興課長

令和6年度見込額の20%増となる1億5000万円としました。満足する額ではないため、ふるさと納税プロジェクト会議での検討をもとにしながら、歳入増大への努力をしたいと思います。

財源留保について

財源留保の額は。

企画財政課長

普通交付税については1000万円程度です。繰越金は、予算上は8000万円を繰越予算としており、決算との差額が留保です。

区長会関連経費

区長会の事務委託料や研修委託料、運営費の改革は。

総務課長

令和5・6年度に研修費等を減額しています。事務委託料については、令和6年度に検討した結果、据置きとしています。

電算システム改修

業務委託料について、令和6年

度は当初予算からの減額補正があったが、令和7年度予算では、令和6年度よりも大幅な増額となっている。計上理由は。

企画財政課長

自治体情報システム標準化に係る経費を計上しています。現在、福崎町の基幹システム開発元である富士通が、自治体の全国一斉の情報システム標準化に取り組んでいます。システム開発が遅れたために令和6年度の予算を減額しました。令和7年度は進捗が図られることから予算を増額しています。

富士通以外への業務委託の検討は。

企画財政課長

検討はしましたが、このシステム改修については、ほとんどの自治体が現在抱えているシステム会社へ委託されています。そのため別のシステム会社が他の自治体の業務を受ける余力はありません。

母子・父子家庭就学就業助成

令和6年度は40万円の予算が計上されていたが、令和7年度はゼロとなっている。なぜか。

福祉課長

行政改革や、低所得者に対する国からの給付金などがあるため、令和7年度から廃止しています。

公害対策費

公害対策費も行政改革の検討対象か。

住民生活課長

自動車の騒音を測定する騒音等調査委託料については、県による調査と測定場所が重複していることにより、令和6年度から調査回数を減らし、年2回から年1回としました。

もち麦について

もち麦の振興策は。

農林振興課長

令和6年度から農商工連携ファンド基金を設け、もち麦を使った新商品の開発や宣伝を補助する仕組みづくりを行っています。栽培については、収穫量増加に向けて普及センターと共に技術支援を続けていきます。

町長

福崎町にとってのもち麦ブランドは財産だと思っています。売上部門では通信販売が低下傾向にあるため、今年度はSNSなどを活用してもち麦のPRを強化します。

観光の経済効果

福崎町の観光の経済効果は。

地域振興課長

県の統計値では1人当たり約6000円でした。これに令和6年度の観光客数を掛けると年間約40億円となります。そこまですべてではありませんが、半分ぐらいの効果は生まれていると感じています。

都市計画について

令和7年度に変更を目指すのは何か。

まちづくり課長

一番大きいものとしては、都市計画マスタープランの改定を考えています。改定に向けて、現在、特別指定区域の見直し作業を行っています。

土地利用基本計画についても、令和7年度当初に都市計画審議会を開催し、変更したいと思っています。

ます。

防災倉庫

体育館東の防災倉庫は、防災マップでは浸水区域に含まれている。場所を移してはどうか。

町長

防災倉庫は水害に関係しないところにあるのがベストですが、駐車場も含めて総合的に検討した上で、補助金を活用して現在の場所につくりました。浸水対策として、防水フェンス付きの倉庫としています。

教育扶助

教育扶助の基準は。

学校教育課長

生活保護基準の1.2倍の方から対象になります。

多くの自治体では1.3倍が普通であって、1.5倍を採用しているところもある。倍率の検討を求めたい。

学校教育課長

全国的なことも確認し、適正妥当なところで進めたいと思います。

図書購入費

図書館の図書購入費が100万円減額となっているが、減少する本の種類は。

社会教育課長

特定のジャンルとは考えていません。全体的に購入冊数などを調整していこうと考えています。

国民健康保険事業特別会計

国保の財政調整基金の保有額は十分な額か。

ほけん年金課長

基幹系のシステムに関連して国保システムの標準化作業も遅れており、令和8年度以降も作業費用が発生する見込みです。そのため、これで十分とは思っていません。

介護保険事業特別会計

介護予防支援計画作成手数料は、各個人から徴収するのか。

福祉課長

これはケアプランの作成の手数料で、個人負担はありません。

水道事業会計

令和6年度は赤字だが、水道事業は今後どうなるのか。

上下水道課長

令和5年度に策定した経営戦略内の試算においても、これから赤字が続く見込みです。近年の建設費・物価の上昇により、試算以上に厳しい状況が続くことも考えられます。

赤字が続いていけば、今後、水道代の値上げとなるのか。

公営企業管理者

当面の赤字は内部留保資金で補いながら進めていきますが、給水原価を供給単価が下回っている状況であることから、今後、料金を見直す時期が来ると見込まれます。

下水道事業会計

農業集落排水の統合について、最後はどこで、いつ頃までの予定か。

上下水道課長

町内には6つの処理場があり、全ての統合終了は令和13年度の予定です。最後は大貫処理場です。

人権擁護委員の選任に同意

かわ ばた く み こ
川 端 久美子 氏

住 所

福崎町高岡

任 期

令和7年7月1日から3年間



豆知識 人権擁護委員とは

首長が議会の同意を得て法務省へ推薦します。人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けたり人権の考えを広める活動をするボランティアで、法務大臣が委嘱する特別職の国家公務員です。

市川町外三ヶ市町共有財産事務組合議会議員の選任に同意

任 期 令和7年5月1日から3年間

田原地区(12人)

あかまつ 赤松	かなめ 要氏(南田原)	きた 北	しげよし 成美氏(南田原)	ふく だ 福田	ただし 禎氏(南田原)
まつおか 松岡	ただゆき 忠幸氏(南田原)	なん ば 難波	こういち 弘一氏(南田原)	まつ い 松井	てつ お 鉄男氏(西田原)
ふじかわ 藤川	ち ひろ 千博氏(西田原)	は せ がわ 長谷川秀行氏(西田原)	ま え だ 前田	ま え だ 亮平氏(西田原)	りょうへい 亮平氏(西田原)
た だ 多田	さだ お 定夫氏(西田原)	ます だ 梶田	きよのり 清紀氏(東田原)	はん だ 半田	かずゆき 和之氏(東田原)

八千種地区(5人)

あお た 青田	よしひと 義人氏(八千種)
にし い 西井	としゆき 敏幸氏(八千種)
ふじもと 藤本	しのぶ 忍氏(大貫)
おか 岡	かずひろ 和弘氏(大貫)
はにおか 埴岡	まさのり 正則氏(大貫)



豆知識 市川町外三ヶ市町共有財産事務組合とは

市川町・福崎町・姫路市・加西市の4市町からなり、共有する土地の維持管理に関する事務を共同処理する組合です。共有山は西小畑山、東小畑山、御舟山、日原山、河内山、加茂地山、忍辱山、岩戸山の8山です。議員は発足当時の入会権のあった地区(集落)より1人ずつ推薦され関係市町の議会の同意を得て就任しています。

福崎地区(1人)

よし だ 吉田	きよ し 清司氏(高橋)
------------	-----------------

公共下水道・農業集落排水施設(個別含む)使用料金改定 令和7年10月1日から施行

1か月基本使用料を10m³まで1200円、10m³を超える水量1m³あたり単価を145円から225円までの逦増制とした使用料体系を採用します。

下水道事業条例を改正 使用料単価を改定

改正内容

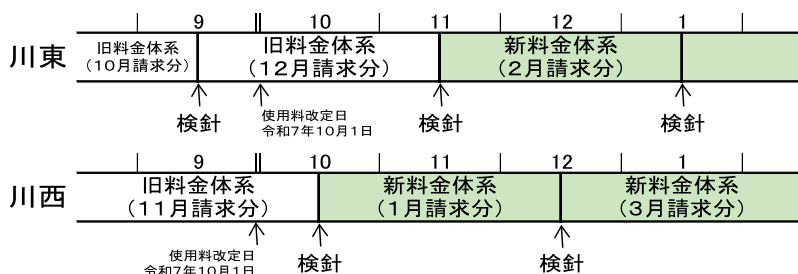
公共下水道使用料を平均14.23%改定します。なお、使用料体系については、現行の「基本使用料」と「従量使用料」からなる「二部使用料制」を維持し、基本使用料及び従量使用料の各水量区分の水量は変更せず、使用料単価のみの改定を行います。

農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例を改正

公共下水道の使用料体系を採用

改正内容

使用料体系を今回改定する公共下水道の使用料体系に統一します。



豆知識 逦増性(ていぞうせい)とは

水量を多く使えば使うほど、料金の単価が高くなるしくみです。生活に必要な水を安価にし、また、節水を心がけていただくことを目的としています。

全国大会等出場懸垂幕等掲示要綱の改正

町外の小中学校に通う児童生徒は福崎町民であっても懸垂幕を掲示してもらえないのは不公平である、時代の流れに応じて要綱を改正してほしいという町民からの意見があり、懸垂幕等掲示要綱の見直したと報告がありました。

町内に住所のある人等が官公庁等が主催、共催及び後援を行っている全国大会に出場した場合や、町内に住所がある等の小中学生が近畿大会以上の大会に出場した場合、同一年度に同一種目につき2回まで掲示できることになります。

パン給食アンケート結果

現在給食では週に4日米飯、1日パンが提供されています。米の価格上昇により学校給食にも影響が出ており、県からの通知で令和6年度比55%価格が上昇する見込みであることが分かったため、パン給食を週2日にするについてアンケート調査を実施し、その結果令和7年4月から米飯が週3日、パンが週2日になる予定と報告がありました。

- 米飯を週3日、パンを週2日にするについてのアンケート

	賛成(%)
小学校	69
中学生	53
幼稚園保護者	59
全 体	60

確定申告相談受付

今年度から確定申告の相談受付会場が町有施設のみに変わり、待ち時間や1日の上限人数について苦情が多く寄せられたことで改善を求める意見がありました。

税務課長

個人情報保護の観点から、今年度から4つの町有施設に限定した相談会場にさせていただきました。昨年までは受付簿に順番に名前を書いていたが、早く来られた場合でも長時間待っていただくこともある状況でしたので、今年度は整理券を配付し、来ていただく時間をお示しする方法をとりましたが、今後検証を進めていきたいと思います。

町長

意見を受けて改善すべきところは改善していきます。

官公庁オークション

2月に自動車6台を出品した官公庁オークションについて、委員から、土地などを出品している自治体もあるため今後福崎町で考えられることを進めてもらいたい、下取りよりお金になるようなものもあるので一度見直しをお願いしたいという意見がありました。

総務文教常任委員会

委員長	吉 高 平 記
副委員長	石 川 治
委員	河 嶋 重一郎
委員	城 谷 英 之
委員	富 田 昭 市
委員	松 岡 秀 人
委員	三 輪 一 朝

(改選前)

带状疱疹ワクチン定期接種化

带状疱疹ワクチンは、これまでは任意接種でしたが、令和7年4月1日から定期接種B類に位置づけられます。これは、高齢者のインフルエンザや新型コロナウイルス感染症などと同じ分類となります。

福崎町では、現在、定期接種の体制を整えていると報告がありました。また、令和6年度から実施していた任意接種費用の助成は、令和7年度以降も継続して実施されるということです。

	定期接種(令和7年度から)	任意接種費用の助成(令和6年度から)
目 的	個人の発病または重症化予防	個人の発病または重症化予防、経済的負担の軽減
対象者	65歳 60歳から64歳で、心臓などに障がいのある人 65歳を超える人は5歳刻みで100歳まで(経過措置5年間) 100歳を超える人(令和7年度のみ)	50歳以上
接種費用	自己負担額 検討中 ・生ワクチン2,000円/回程度 ・組換えワクチン6,000円/回程度 (生活保護世帯および住民税非課税世帯は無料(予定))	助成額 ・ワクチンの種類に関わらず、上限4,000円/回(生活保護世帯は上限8,000円/回) ・1人1回限り
接種場所及び接種方法	インフルエンザ予防接種等と同様の方法で受診できるよう調整中	・町内指定医療機関(12か所)・・・代理受領委任払い ・それ以外の医療機関・・・償還払い

西播磨レインボーカードの終了

令和6年度まで、65歳になった方へ老人クラブ等を通じて配布されていた西播磨レインボーカードについて、令和7年度から配布中止になると報告がありました。これまでは、このカードを提示することで、西播磨地区の文化施設などを、老人月間である9月に無料で入場できていましたが、今後は、西播磨レインボーカードの代わりにマイナンバーカード等、年齢が確認できる本人確認書類等を提示することで、これまでと同様に無料優待入場を受けることができるということです。

ごみ処理手数料の改定

くれさかクリーンセンターのごみ処理手数料について、現在、家庭系・事業系一律で10kg当たり100円となっていますが、令和7年度に料金の改定が行われると報告がありました。令和7年10月1日から改定される予定で、改定後は10kg当たり130円となります。

民生まちづくり常任委員会

委員長 小林 博
副委員長 牛尾 雅一
委員 植岡 茂和
委員 宇崎 壽幸
委員 大塚 記美代
委員 竹本 繁夫
委員 前川 裕量
(改選前)

ここが聞きたい!

一般質問

8人の議員が町政を問う!

「一般質問」は公の場である議会で行政全般について町長の考え方や町政を質し、議員自らも政策提言を行い政治姿勢を明らかにする大切な場です。質問をする議員は町長に事前に質問内容を通告します。議員の質問（持ち時間）は45分間となっています。質問した議員が原稿を起こし「議会だより」に掲載しています。

各議員の一般質問のページは字数に制限があるため抜粋されています。
一般質問の詳細な様子はQRコードを読み取ってご覧ください。

通 告 の 内 容

うえ おか しげ かず 植 岡 茂 和 12 ページ	確定申告相談について 消防団あり方検討委員会について 都市計画道路について	うし お まさ かず 牛 尾 雅 一 16 ページ	選挙投票率向上の取組について 安全・安心な通学路の整備について 土地利用の規制緩和について
おお つか き み よ 大塚記美代 13 ページ	フリースクールの授業料支援について 福崎町のがん対策とがんの人への支援はどうなっているのか 手話言語条例ができて何がどう変わったのか 外国人観光客にどう対応しているのか	しろ たに ひで ゆき 城 谷 英 之 17 ページ	福崎町財政について
いし かわ おさむ 石 川 治 14 ページ	投票所入場整理券の発送方法について GIGAスクール用タブレット端末の更新について 市川右岸の護岸整備について	う さき かず ゆき 宇 崎 壽 幸 18 ページ	行政改革について
よし たか ひら き 吉 高 平 記 15 ページ	第6次行政改革について 七種の青少年野外センターの利用料金について 行財政改革について	こ ばやし ひろし 小 林 博 19 ページ	教育・子育て支援 住民生活の安定にかかわる課題 安全な町づくり 環境問題 農業



確定申告相談の手続き方法を変えたのはなぜか



感染症予防対策、長時間お待ちいただく状況を解消することに配慮しました



植岡 茂和



確定申告相談会（サルビア会館）

問 福崎町による確定申告相談会の手続き方法が変わり、対象地区の撤廃、1日上限100人というやり方になった。順番がとりづらいと苦情も多かった。今年度から手続き方法を変えた理由は。

税務課長

この度の見直しについては申告日ごとに定めていた対象地区を撤廃するとともに、申告

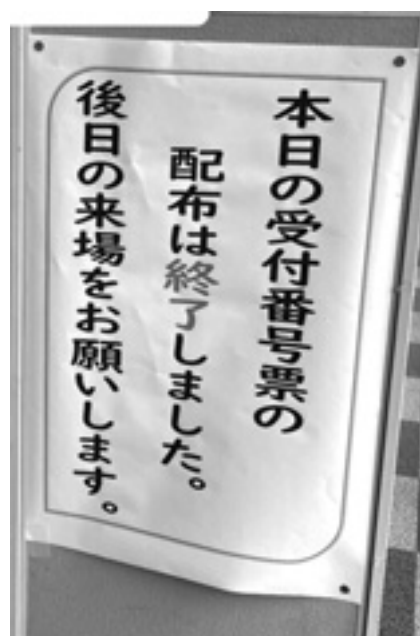
会場を町有施設に限定し、1日の最大受付人数を設定しました。これは令和5年度の個人情報保護制度改正により、個人情報取り扱いが厳格化されたことを受け、税情報等を町有施設外に持ち出すことをできる限り避けるべきだという思いから見直したものです。他に考慮した点としては、あえて地元集落以外の会場で申告相談をされ

ている方がおられる状況や感染症予防対策、控室で長時間お待ちいただいている状況を解消することに配慮しました。

問 上限を100人にした理由は。

税務課長

過去のデータをもとに設定しました。昨年度でしたら1日80人から90人が来られている状況でした。今回受付上限100人という縛りを設けさせていただいていますが、実際はご家族で来られる方も多いです。その場合は番号票1枚で複数人の申告相談を受けることになります。実際は100番といいますが、120人以上の申告をとるような状況で、職員も、昼休みもとらず相談終了時間を超過しても相談を続けるような状況でした。



状況から考えても100人が限界ではないかと思っています。

応できたのでは。撤廃の見直しをする気はあるのか。

問 相談開始前半から後半への相談人数の推移は。

税務課長

前半の1週間、また、会場が変わったタイミングで100人を超えました。100人を超えたのは7日間（21日間）です。それ以外は100人未満です。徐々に落ち着き、最終日には44人でした。

問 対象地区を撤廃しなければスムーズに対応

税務課長

方法を変更したところですので、受付番号票が途中で出てしまう場合もあると注意喚起もしましたが、伝わっていないところも確かにありました。今年の状況を参考に「前半のこの日に何人」など示しながら前半に集中しないような対応をし、より周知に努めることで同じ方法を取りたいと思っています。



大塚 記美代

福崎町の現役世代へのがん対策 はどうなっているのか



町内の罹患率はわかりません。早期発見のため、
がん検診の受診率を向上させていきます

問 がんは2人に1人が罹患する。町内の罹患率は把握しているか。

ほけん年金課長

わかりません。県全体の罹患率は男性では大腸がん、胃がん、肺がん、女性では乳がん、大腸がん、子宮がんの順となっています。いずれも早期発見が大切と考えており福崎町では20歳以上の住民全員に郵送でがん検診の受診を勧奨しています。

問 がんになって退職した人は把握しているか。

ほけん年金課長

町内の状況は把握できていません。がん患者の3人に1人は現役世代と言われており、がんと診断された後に退職した人は全体の約20%です。

問 退職した方への支援は。

ほけん年金課長

退職した方に対して町で支援しているものはありません。

フリースクールの 授業料支援は

問 フリースクールに通学する子どもに対する利用料の補助制度を導入した市町が増えてきており、姫路市でも令和7年度からフリースクール等利用者支援が始まったと聞く。全ての子どもに学習する権利が保障されなければならないのは周知のとおりで、これは町の責務。フリースクールに行っている子には何の手当てもないことを町長はどう考えるのか。

町長

決して忘れていないと

いうことではありませんが、他市町でもいろんな対応をされているということを大塚議員からお聞きしましたので、そういった情報収集もしていく必要があると思っています。

問 兵庫県もついにフリースクールに通う子どもへの支援が始まったと聞いた。なぜ福崎町に導入されないのか。

学校教育課長

兵庫県の支援制度は令和7年4月1日から始まります。今後、近隣市町の制度設計を研究し、状況を確認した上で議論をしたいと考えています。

手話言語条例ができて 何が変わったのか

問 手話言語条例が制定されたが、何が変わったのか。

福祉課長

手話講習会の参加者が増加したり、学校や地域イベントで手話が活用される機会が増えることが期待されます。実際には、条例を契機として令和7年度から手話通訳の派遣体制を強化し、ろう者とのコミュニケーションの円滑化がますます進むことが考えられます。令和7年度において新規事業で取り組む手話ダンスチーム育成事業や、ろうあ協会が主催されている手話カフェ事業、町が実施する手話講座に参加しやすいような体制づくりに努めています。

外国人観光客への 対応は

問 増えている外国人観光客に対する町の対応は。

地域振興課長

観光交流センターにポケトークがあります。スタッフが携帯用の翻訳アプリでも対応しています。英語版の観光マップもあり、それを見ながら周遊していただいています。福崎町まると観光マップは11か国語対応です。大阪関西万博が始まりますので、外国人に対応した観光を進めています。



ポケトーク 世界55言語で
音声とテキストに翻訳

投票所入場整理券の発送方法について



近隣他市町や郵便料金の状況も踏まえつつ、選挙管理委員会で検討を続けます



石川 治

問 投票所入場整理券について、従前は各世帯に封書で届いており、折込みの各自の整理券で投票所に行っていたのが、現在各個人への郵便はがきとなった。このように変わったのはなぜか。

選挙管理委員会書記長

令和3年7月執行の兵庫県知事選挙から現在のはがきタイプの入場券に変更しています。新型コロナウイルス感染症が拡大していたと、期日前投票所における受付時間の短縮と投票所内の混雑の緩和を図ることを目的としていました。

いう形で、かなり待ち時間が多く混雑するところがありました。現在は従前に比べ、受付に要する時間が短くなり、期日前投票を利用される方の利便性が向上したという面では一定の効果があったと認識しています。

問 封書折込みの整理券を持つていくのも、はがきを持つて行くのも何ら変わりはないと思うが、昨年の10月から郵便料金も大幅に上がっている。はがきで22円、封書で26円の値上がりとなっている。各個人へのはがきに係る郵送料は、有権者数が1万5300人であれば13万500円、世帯ごとの封書では、8120世帯では89万3200円となる。この差実に40万円にもなる。

神崎郡3町の中でも個人ごとに郵送しているのは福崎町だけであり、今年も2回の選挙が予定されているため、早速に検討できないか。

選挙管理委員会書記長

神崎郡内の状況はそうですが、姫路市などの人口の多いところははがきタイプが多くなっています。昨今では家庭内DVや同じ世帯であってもいろいろな事情・状況も考えられます。

また今のはがきから封書タイプに変更するにはシステム改修という新たな費用も発生することから、今すぐに変更というのは難しい状況です。

議員ご指摘のコスト

面は大きな要素であると考えますので、今後モシステム更新などタイミングを見ながら、近隣他市町の状況や郵便料金の状況も踏まえつつ、有権者の皆様にと

GIGAスクール用タブレット端末の更新

問 令和2年度に文部科学省のGIGAスクール構想によつて導入された現在1800台となつていくタブレット端末であるが、既に5年目を迎え、更新時期となつた。7年度予算において1700台を5年リース契約する38万4000円が計上されている。これに係る国の補助金はいくらか。

学校教育課長

問 前回の一括購入とは違つて今回リース契約にしたメリットデメリットについてはどのように検討したのか。

買取りとリースで比較すると、一度に買取りをするとなると多額の購入費が要りますが、リースになるとそれを5年間で分散できて単年度の負担が軽減できると捉えています。

学校教育課長

令和7年度で購入する端末は3分の2が補助金です。予算上では1700台を購入するに当たり、1台5万5000円以内というところで9350万円、そ

また、このたびも5年を契機として兵庫県が共同で県下のGIGAスクール構想の端末を希望する自治体の参加を募り、41自治体中36自治体が共同調達に参加をしています。



吉高 平記



町のホームページでは第6次行政改革の進捗状況を広く住民公表するはずが、ないのはなぜか



大綱に記載していましたが、できていませんでした

- 問** 実施計画を策定し、毎年進捗状況を点検するとともに必要な見直しを行うとあるが、いつ誰が点検して見直しをしてきたのか。
- 企画財政課長** 点検は各担当課長がしています。計画内容について見直しは行っていない。
- 問** ホームページでは4年前の令和3年4月付の計画のみが掲載されていて、その後の点検、進捗状況は何も掲載されていない。なぜか。
- 企画財政課長** ホームページへの公表には至っていませんので今後、ホームページの充実に努めていきたいと思っています。
- 問** 昨年12月の全員協議会で、第6次総合計画について一般会計の貯金というべき財政調整基金がこのままでは9年後の令和15年にはゼロになるという報告があった。これは公表の一環の位置づけか、それとも何かほか別の意図があったのか。
- 企画財政課長** 昨年12月の全員協議会での第6次行政改革の説明については公表の一環ではなく、令和7年度予算に反映するために行いました。
- 問** 令和7年度は最終年度なので、当然財政調整基金を貯めるために大幅な見直しをかける施策の再検討を行うことを予定されていると思うが、最近行政側から「令和7年度は次の行政改革の策定の年」ということをよく聞く。第6次行政改革をどう評価されているのか。



▲ 第6次行政改革の進捗状況について記載がない町のホームページ

- 町長** 行政改革大綱は5年間ごとにきちつと見直ししており、今回また見直しの時期に当たっている。次回はしっかりとした見直しを行い、計画ができて終わりでなく実効性のある、しっかりとした大綱の見直し、実施計画の見直しに取り組んでいかなくてはならないと思っています。
- 問** 実施計画23番のテーマでは「業務改善の推進、職員の提案の促進、目標値として採用する職員提案数は毎年1件以上」とある。令和3年から毎年何件の提案があり、何件採用され、その結果年間いくら金額的な効果があったか。
- 企画財政課長** 業務改善は令和3年度7件の提案中3件採用、令和4年度3件の提案中1件採用、令和5年度1件の提案中1件採用しました。金額的な効果はあらわしていませんが、職員のワークライフバランスや業務の改善にはつながっています。
- 問** 提案件数が7件や3件や1件。正規職員約150名がいる中で、このテーマは職員数名レベルで良しという発想か。
- 企画財政課長** 毎年職員に広く業務改善提案を募っていますが、こちらに来たものがこういった件数となっています。件数が少ないのは認識をしています。

町道中島井ノ口線の西側を市街化区域にできないか



都市計画道路沿いですので、検討を行うことは十分可能です



牛尾 雅一

問 町道中島井ノ口線の東側市街化区域は多くの大型商業施設等が

でき、現在福崎町で一番にぎわいがあるところと思われる。西側も市街化区域に編入できないか。最低でも農振の規制を外せないか。

まちづくり課長

都市計画道路沿いで市街化区域への編入について検討は十分可能ですが、編入することにより土地に様々なメリット・デメリットが生じる可能性があり、地元区民の方々の意向も十分に尊重し調整協議を行う必要があると考えています。

町長

都市計画道路ができから十分時間も経っており、地元意向も確認しながら協議を行なうていけたらと考えています。



最低でも農振除外が求められる都市計画道路沿

問 現在、ガジロウの

人気や町の様々な取り組みにより毎日外国人の方をはじめ多くの観光客が福崎町を訪れている。又、工業団地等の多くの企業に遠方より商談等で来られる方もおられるが町内に宿泊施設が少ない。ホテルがあれば町の活性化につながる。資材高騰を考えるとコンテナ型ホテルを誘致できればと考える。

町長

具体的な話や相談があれば町として用途地の変更など協力でき

ることはしていきたい。

通学路の安全対策

問 福崎東中学生の通

学路で冬場には下校する17時前でも暗く民家が100m程一軒もない所がある。人がなく町道脇の私有地は雑草が伸び、見通しが悪く危険。約20年前には度々不審者が出没し危険なため痴漢注意等の立看板が設置されたが、蛍光型の立看板に交換が必要では。また、背丈ほどの雑草は、私有地であっても公益性がある場合には町が刈る事はできないか。

住民生活課長

原則として土地所有者に管理義務があり、町が行うことはありませんが、住民の苦情等がある場合は土地所有者に対し文書で通知・

指導を行っています。

自治会にも協力を仰ぎながら良好な環境保全に努めます。

選挙投票率向上の取り組み

問 近年、期日前投票

が多く、川西地域の方々、また通勤・通学でJR福崎駅を利用される方々の利便性向上のため、駅前観光交流センター2階に期日前投票所を開設できないか。外付けのエレベーターがあり車いすの方にも投票に来てもらいやすいのでは。



駅前観光交流センター外付けエレベーター

選挙管理委員会書記長

期日前投票所を増設

した場合、有権者の皆様にとつてメリットがあると思いますが、専用の回線や投票管理者、立会人、事務従事者等の人員確保の課題など多くのハードルがあり増設は難しい。

問 期日前投票をされ

た方に投票済証を渡し、提示することでコミュニティバスが期日前投票の期間中もしくはそれ以降でも1回ないし2回無料で利用できる取り組みはできないか。

選挙管理委員会書記長

投票済証を提示することで、コミュニティバスの運賃が無料となるサービスを行うことについては、町や選挙管理委員会が選挙割に関する活動を率先して行なうことは控えるべきとされていることから、現在のところ難しいと考えます。



城谷 英之

観光事業は町民の理解が必要。 利益はガジロウ基金に



趣旨・目的、制度設計の検討をしたいと思います

問 平成25年度にもちむぎ食品センターに1億何千万の負債があった。もちむぎ食品センター



福崎町ふるさと納税エンブレム

町長 基金をつくろうとすると基金条例が必要になってきます。どのような趣旨・目的、制度設計にするのか一緒に検討させていただいたと思います。

問 妖怪ガジロウにお金をたくさん使っている。町民は非常に心配している。ガジロウがひとり歩きしているようにしか思えない。町長は以前、観光協会に職員を入れていたから、得た利益はそちらに使いますと答弁されていた。きつちりとガジロウ基金をつくってもらいたい。

に利益を出さないとこれからの福崎町はやっていけないのではないかと担当者とともに当時の副町長のところへ話に行ったことがガジロウのスタートだったと思う。ガジロウを応援してくれる全国の方々には感謝申し上げたいが町民のくらしにプラスになっていないと聞く。ガジロウが表に出ていくことによって溝蓋（道路整備他）をしたり、花を植えるなど町民に還元できる施策が必要。もう十数年経っている。町はお金を落とすシステムをつくっていかないと何の

問 全部というわけではありませんが、お願いした企業はありますか。

町長

問 町長は企業版ふるさと納税について、工業団地や企業回りにお願いに行かれたことはあるか。

ふるさと納税

町長 基金を設置するためには基金条例が必要です。その制度設計をしていかなければなりませんので、地域振興課が中心になるかと思いますが、議会ともよく相談をさせていただきながら考えていきます。

問 農林水産省へ福崎町の職員が派遣されているが、どういったところへ派遣されているか。

農業施策

問 最新の農業施策を持って帰っていただき農林振興課が中心となつて農業者に伝えていただきたい。

他の仕事はできないと言われたが、工業団地の下水、工業用水を使用している企業へ公営企業管理者から会いに行くことができる。公営企業管理者から地域振興課につなげるために工業団地は回らないのか。

総務課長

町長 農林水産省農村振興局農村政策部の都市農村交流課に在籍しています。都市農村交流課は6次産業化、農福連携また農泊等の農林水産物や農林水産業に関わる多様な地域資源を活用し、付加価値を創出する取り組みによつて農山漁村における所得と雇用機会を確保する取り組みを推進している部署です。

町長

問 農林水産省農村振興局農村政策部の都市農村交流課に在籍しています。都市農村交流課は6次産業化、農福連携また農泊等の農林水産物や農林水産業に関わる多様な地域資源を活用し、付加価値を創出する取り組みによつて農山漁村における所得と雇用機会を確保する取り組みを推進している部署です。

問 農林水産省農村振興局農村政策部の都市農村交流課に在籍しています。都市農村交流課は6次産業化、農福連携また農泊等の農林水産物や農林水産業に関わる多様な地域資源を活用し、付加価値を創出する取り組みによつて農山漁村における所得と雇用機会を確保する取り組みを推進している部署です。

問 農林水産省農村振興局農村政策部の都市農村交流課に在籍しています。都市農村交流課は6次産業化、農福連携また農泊等の農林水産物や農林水産業に関わる多様な地域資源を活用し、付加価値を創出する取り組みによつて農山漁村における所得と雇用機会を確保する取り組みを推進している部署です。

財政警戒宣言、まちの未来はあるのか



改善するためにしっかりと計画を定めていきます



宇崎 壽幸

問 昨年12月に行政改革の説明を受け、令和4年度では財調は約15億円保有し健全な財政運営が行われ、先人（OB）の努力により誇れる福崎町を目指し推進してきた。しかし、尾崎町長のもと令和10年度までに基金が枯渇し、赤字に転落、国、県の指導を仰ぐ状態である。主な要因は、福崎駅前周辺整備事業等への過剰な投資により財政悪化を招いた。まず皆様

に謝罪し、職員に不安を与えない大胆な改革を求めたい。

企画財政課長

令和8・9年度では、次期ごみ処理施設、中播消防署建替の投資的経費で、今後、予算編成が厳しくなると思っています。

問 健全な財政運営を行うために下水道料金の値上げ、特別職の給与カットで年間いくらの財源確保ができるのか。

企画財政課長

下水道料金では約2500万円、特別職給与カットで約1300万円です。合計で約3800万円です。

問 今後、新たな財源

水道料金、国民健康保険税、固定資産税等の引き上げを町民から求めるのか。

町長

水道料金は企業会計、国民健康保険は特別会計でやっており、独立採算の原則で一般会計からは値上げを考えるとありません。

問 現状が続けば予算が組めなくなるのでは

企画財政課長

このままの状態でいくとそういうこともあり得ると思っています。

経費の削減を求めたい JR福崎駅前駐車場の 設置及び管理

問 平成29年から三井

不動産リアルティ㈱と委託契約され、駅西57台、駅東68台で運営されている。7年間で約2200万円の赤字である。税金が投入されている。代表監査からも指摘され改善されていない。不適切な会計処理が行われている。

財政改革のもと改善を求めたい。

町長

駐車場をどのように活用していくか今後、考えていきます。

観光交流センターの維持管理

問 維持管理費についてどのような契約がされているのか。

地域振興課長

町の施設に係る管理費は、町費で一般会計から支出しています。

問 年間いくらの経費がかかっているのか。

地域振興課長

駅前観光交流センターの電気料金、水道料金、下水道料金、建物共済の合計で令和4年度では駅前観光交流センターで約194万円です。

今後、財政改革を推進するために、指定管理者との契約を見直し維持管理費含めた契約を求めたい。

町長

今後、検討させていただきます。

確定申告

問 今年、2月17日から確定申告が行われ昨年度と違い順番制に変更し、1日受付を100人までとされました。今後の方針は。

税務課長

町民からせつかく申告に来たのに受付できないとお叱りの声を聞きました。スムーズな申告相談ができるように努めたいと考えています。



小林 博

物価高騰の中、給食運営は



対応に2千万円を予定しています

問 学童保育での急病時などの対応は。

学校教育課長

空き部屋で休ませ、保護者へ連絡をします。けがの場合は支援員が病院へ連れていきます。

問 幼稚園の申込状況は希望に添えているか。

学校教育課長

第2希望等で調整し、希望に沿えていると思っています。0歳児で5人、1歳児で2人の保留がありますが特定の園を希望されています。

問 体操教室の参加が増えている。指導者の増員等の対策は。

社会教育課長

考えていきたいと思っています。

問 物価高騰で給食の対策は。

学校教育課長

今年度は米代の高騰

分も含め2千万円を充てています。

生活に関する問題

問 福崎町の国保税は姫路市、神崎郡で一番高い。県の参考値を採用しているからだ。子どもの均等割りを廃止しているところもある。福崎町も自主的な対応が求められる。

ほけん年金課長

令和12年度には県内の保険料完全統一が予定されていますので、町独自の減免は考えていません。

問 介護保険利用まで時間がかかると声がある。

福祉課長

申請から認定通知までは原則30日以内ですが、超えることもあります。

問 休日の各種催しや夢前のプール等への巡回バスの充実を求める。

福祉課長

利用者数やコストから現在考えていません。

問 補聴器補助の充実と耳マークの普及を。

福祉課長

補聴器補助は財源上からも現行で行いたいと考えています。耳マークの普及は町全体で取り組んでいきたいと思っています。

問 町単独の福祉施策は行革として廃止か。

町長

時代に合わせた見直しが必要だと思っています。

問 下水道使用料の値上げについて、見直しの結果、増額したという説明だった。精査せず審議会を開いたのか。

まちづくり課長

県に要望は続けます。必要なバリアフリーは積極的にしています。

値上げ中止と管理者制度の廃止を強く求める。

公営企業管理者

総額はかわつていません。

町長

管理者には全体を見据え運営してもらいたいと思っています。

安全な町づくり

問 高齢化社会、生活圏を分断する国道道の安全計画は。防曇ミラーの整備を早めて欲しい。バリアフリーを基本にしてほしい。

まちづくり課長

計画的に防曇ミラーに更新します。

住民生活課長

耕作放棄地が増加。地域計画の進捗状況は。

農林振興課長
28集落全て策定する予定です。

環境問題

問 高橋・板坂の廃棄物問題の進捗は。

住民生活課長

県と協力して根気強く指導していきます。

まちづくり課長

相手が上告しています。あらゆることを想定して対応します。

問 公害防止協定は守り続けて欲しい。

住民生活課長

協定で生活環境の秩序が保たれていると思っています。

農業問題

問 耕作放棄地が増加。地域計画の進捗状況は。

農林振興課長

28集落全て策定する予定です。

福崎町議会 会派一覧表（令和7年5月現在）

会派名	所属議員			
清風会	前川裕量	植岡茂和	吉高平記	城谷英之
ふくさき	三輪一朝	竹本繁夫		
無会派議員	牛尾成利 小林 博	牛尾雅一 住谷庸子	大住文子 田中康智	北山智恵 中田貴子

豆知識 会派とは

政策を中心とした同一の理念を共有する議員により構成し、政策立案、政策決定等に関して合意形成に努める団体です。

福崎町議会では2人以上で結成することができ、議長宛に会派結成届を提出することで会派としての活動を行うことができます。

福崎町議会の概要

議員定数 14人

1年のスケジュール

年齢別内訳

30～39歳	1人
40～49歳	1人
50～59歳	4人
60～69歳	5人
70歳以上	3人

議員報酬

議長	370,000円
副議長	280,000円
議員	255,000円

4～5月	議会運営委員会（3月定例会の反省会） 閉会中の常任委員会 行政視察・研修など 定例会前の議会運営委員会
6月	定例会
7～8月	議会運営委員会（6月定例会の反省会） 閉会中の常任委員会 定例会前の議会運営委員会
9月	定例会（決算の審査）
10～11月	議会運営委員会（9月定例会の反省会） 行政視察・研修など 閉会中の常任委員会 定例会前の議会運営委員会
12月	定例会
1～2月	議会運営委員会（12月定例会の反省会） 閉会中の常任委員会 定例会前の議会運営委員会
3月	定例会（予算の審査）

5月臨時会

第518回 臨時会

第518回臨時会は5月1日に招集されました。今臨時会では、町長から議案2件が上程され、慎重に審議を行い、いずれも原案のとおり同意・承認されました。

全員賛成で同意・承認した議案

	議案名	概要
人事	監査委員の選任	中田貴子氏を推薦
条例	専決処分の承認（町税条例の改正）	物価上昇局面における税負担の調整及び就業調整への対応をし、税収が安定的な地方税体系を構築するため、地方税制について所要の措置を行う

中田議員は除斥対象となりますので人事の採決に加わりません。

議会広報常任委員会



牛尾成利 中田貴子 住谷庸子
城谷英之 委員長 副委員長
田中康智 牛尾雅一

議会広報常任委員会は、議会活動の状況を周知し、理解していただくための手段のひとつとして、定例会ごとに「議会だより」の編集作業を行っています。

より開かれた議会を目指して議論を深め、議会の動きをお伝えします。

議会運営委員会



三輪一朝 小林 博 北山智恵
吉高平記 委員長 副委員長
前川裕量 大住文子

議会運営委員会は、議会の運営に関する事項、会議規則、委員会条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項などの調査、審議を行います。

議会基本条例を礎に、議会の規律を維持し、町民に信頼される議会を目指します。

一部事務組合議会議員

中播衛生施設事務組合

牛尾成利 植岡茂和

構成市町：神河町・市川町・福崎町・姫路市
共同処理する事務（姫路市は旧香寺町及び旧夢前町の区域のものに限る）

- ・し尿処理施設の設置及び管理に関すること
- ・組合施設周辺の環境施設の設置及び管理に関すること

福崎町の組合議員の定数：2人

くれさか環境事務組合

城谷英之 北山智恵 前川裕量

構成市町：姫路市・福崎町
共同処理する事務（姫路市は旧香寺町、旧夢前町及び旧安富町の区域のものに限る）

- ・廃棄物処理施設（ごみ処理施設、粗大ごみ処理施設及び最終処分場施設）の設置及び管理運営に関すること

福崎町の組合議員の定数：3人

姫路福崎斎苑施設事務組合

牛尾雅一 大住文子 住谷庸子

構成市町：姫路市・福崎町
共同処理する事務（姫路市は旧香寺町及び旧夢前町の区域のものに限る）

- ・斎苑施設（搬送車を含む）の設置、管理及び運営に関すること

福崎町の組合議員の定数：3人

中播北部行政事務組合

中田貴子 小林 博 田中康智

構成市町：神河町・市川町・福崎町

共同処理する事務

- ・ごみの収集、運搬及び処理に関すること
- ・ごみ処理施設の設置及び管理運営に関すること
- ・火葬場の設置及び管理運営に関すること
- ・ごみ処理施設の建設に関すること

福崎町の組合議員の定数：3人

新しい議会構成 決まる



副議長 植岡茂和 議長 竹本繁夫

豆知識 議長とは

議会の活動を主宰し、議会を代表し議会構成上欠くことのできない重要な地位にあります。議場の秩序の保持、議事の整理、議会の事務の統理をします。

議長及び副議長は、選挙後に初めて行われる初議会において、指名推薦または投票による選挙で決まります。



監査委員 中田貴子

豆知識 監査委員とは

地方自治法に基づいて地方自治体の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理を監査するほか、必要に応じて法令に基づき各種の監査をする機関です。

福崎町の定数は2名で、財務管理等に優れた識見を持つ者及び議員のうちから、町長が議会の同意を得て選任します。

総務文教常任委員会



大住文子 城谷英之 牛尾雅一 中田貴子
委員長 副委員長
竹本繁夫 吉高平記 牛尾成利

総務文教常任委員会は、町が進める総合計画や行財政運営、町税、会計、学校教育、社会教育など多岐にわたる項目について調査・審査を行います。

担当することからは、総務課、企画財政課、税務課、出納室、教育委員会の所管に関する項目及び他の常任委員会の所管に属さない事項などです。

民生まちづくり常任委員会



北山智恵 田中康智 前川裕量 植岡茂和
委員長 副委員長
小林 博 三輪一朝 住谷庸子

民生まちづくり常任委員会は、商工業や観光の振興、町民の健康福祉の向上、生活、防災、環境衛生、農業、まちづくり及び上下水道の整備などについて調査・審査を行います。

担当することからは、地域振興課、住民生活課、福祉課、ほけん年金課、農林振興課、まちづくり課の所管に関する項目及び公営企業に関する事項などです。

議員紹介

(議席順)

任期：令和7年5月1日～令和11年4月30日(4年間)



1番 なか た たか こ
中田 貴子



2番 うし お なり とし
牛尾 成利



3番 うし お まさ かず
牛尾 雅一



4番 おお すみ ふみ こ
大住 文子



5番 み わ かず とも
三輪 一 朝



6番 よし たか ひら き
吉 高 平 記



7番 こ ばやし ひろし
小林 博



8番 た なか やす とも
田 中 康 智



9番 すみ たに よう こ
住 谷 庸 子



10番 きた やま ち え
北 山 智 恵



11番 まえ がわ ひろ かず
前 川 裕 量



12番 しろ たに ひで ゆき
城 谷 英 之



13番 うえ おか しげ かず
植 岡 茂 和



14番 たけ もと しげ お
竹 本 繁 夫



知識 議員とは

住民の直接選挙によって選ばれる住民全体の代表者です。

議員の役割は個別の住民利益ではなく、負託を受けた住民意思を背景に福崎町にとって最善の政策実現を図る任務を有しています。身分は、町の特別職の公務員です。

ふくさき

議会だより

令和7年5月15日

兵庫県福崎町議会

第174号



5月1日に開かれた臨時議会で、議長・副議長の選挙を行いました。

また、監査委員のほか、各常任委員会と議会運営委員会などの委員が選任され、新しい議会構成が決まりました。

次の定例会は 6月6日 開会予定

議会広報常任委員会

委員長	田中康智
副委員長	牛尾雅一
委員	牛尾成利
委員	城谷英之
委員	住谷庸子
委員	中田貴子

ふくさき議会だより第174号
令和7年5月15日 発行

発行/兵庫県福崎町議会
編集/議会広報常任委員会

編集後記

5月臨時議会で議長選挙及び副議長選挙が行われ、委員会構成も新たになり、議会の新体制が整いました。
今号では令和7年度の予算のあらましや、3月の定例会議でのやりとりなどを掲載しています。表紙には町内の桜の名所を掲げて、新たなスタートにふさわしいものとした。また、裏表紙から開いて頂くと議会構成の情報がご覧いただける様に工夫しています。
議会だよりは、町民と議会を結ぶ大切な広報誌です。議会広報常任委員会の委員長の重責を果たし、委員全員で、より分かりやすく、より親しんで頂ける広報誌づくりを行ってまいります。

(田中康智)

福崎町議会へのお問い合わせ、ご意見ご要望は下記へ

〒679-2280 兵庫県神崎郡福崎町南田原3116-1

TEL(0790)22-0560 FAX(0790)22-2342

ホームページ: <http://www.gikai.town.fukusaki.hyogo.jp>

福崎町議会

検索

で検索できます。